佐賀大学 SAGA UNIVERSITY
理工学部 FACULTY OF SCIENCE AND ENGINEERING

2026 年 10 月 22 日

インドネシア・ハサヌディン大学工学部で
国際パートナーシップ教育プログラムを開催

【概要】

2026 年 8 月 23 日（日）から 9 月 3 日（木）にかけて，インドネシア・ハサヌディン大学工学部において，国際パートナーシップ教育プログラムを開催しました。本学から学生 5 名と教員 1 名が参加し，現地学生とともに講義やワークショップ，フィールド見学などを通じて，社会基盤や環境問題について幅広く学びました。また，異文化交流を通じて，国際的な視野を広げる貴重な機会となりました。

【本文】

2026 年 8 月 23 日（日）から 9 月 3 日（木）にかけて，インドネシア・南スラウェシ州のハサヌディン大学工学部において，本学大学院理工学研究科の国際パートナーシップ教育プログラムを開催しました。本研修は，理工学部都市工学部門の三島 悠一郎 准教授とハサヌディン大学工学部の Tri Harianto 教授を中心に企画・実施されたもので，本学からは都市工学部門ならびに STEPs に所属する博士前期課程の学生 3 名，学部 4 年生 2 名および教員 1 名が参加しました。

本プログラムは，低平地の持続可能な社会基盤の構築に貢献できる国際人材の育成を目的としています。特に，日本とインドネシアの社会環境や発展状況の違いを実際に現地で学ぶことで，日本の社会基盤や生活環境の特徴を再認識するとともに，今後の社会を支えるために必要な視点を養うことを目指しています。また，土木工学を基軸としながら，情報工学，機械工学，物理学などの異なる専門分野の学生が参加し，多様な視点から社会課題を考える機会としました。

研修では，ハサヌディン大学工学部の教員による特別講義に加え，マカッサル市内の社会基盤施設や河川・沿岸地域のフィールド見学，研究室訪問などを実施しました。学生は急速に発展する都市の姿や水環境，交通事情などを観察し，日本との違いや，その背景にある社会的・経済的な要因について理解を深めました。また，両大学の学生による混成グループを編成し，現地で得られた情報をもとに社会課題を整理するワークショップを実施しました。河川の水質汚濁，廃棄物管理，都市インフラなどの課題について，専門分野の異なる学生が英語で議論を重ね，最終日には課題とその解決策についてプレゼンテーションを行いました。

参加学生の振り返りレポートでは，日本の社会基盤や公共サービスの水準の高さを改めて認識したことや，現地学生の積極的な学習姿勢に刺激を受けたことなどが報告されました。また，英語での議論に苦労しながらも，正確な英語にこだわりすぎず，自ら積極的に意思を伝えることの重要性を学んだ学生も多く見られました。専門分野の枠を越えて社会課題を考える経験は，今後の学修や研究活動に対する意欲を高める機会にもなりました。

佐賀大学では，ハサヌディン大学とのサンドイッチプログラム協定を基盤として，短期研

修から大学院での留学・共同研究へとつながる国際教育の仕組みづくりを進めています。今後も学生が積極的に海外へ飛び出し，多様な価値観や社会環境に触れる機会を提供することで，国際的な視野と実践力を備えた人材の育成を推進していきます。

なお，研修終了後の 9 月 5 日以降，クラタカウ火山の噴火に伴う航空便の混乱により，学生の帰国日程に変更が生じました。この際，ハサヌディン大学，株式会社 YBM の本社およびジャカルタ支社，五洋建設株式会社香港営業所の皆様に多大なご支援を賜り，学生全員が無事に帰国することができました。この場を借りて，心より御礼申し上げます。



ワークショップの様子



フィールド見学後の記念撮影



プレゼンテーション準備の様子